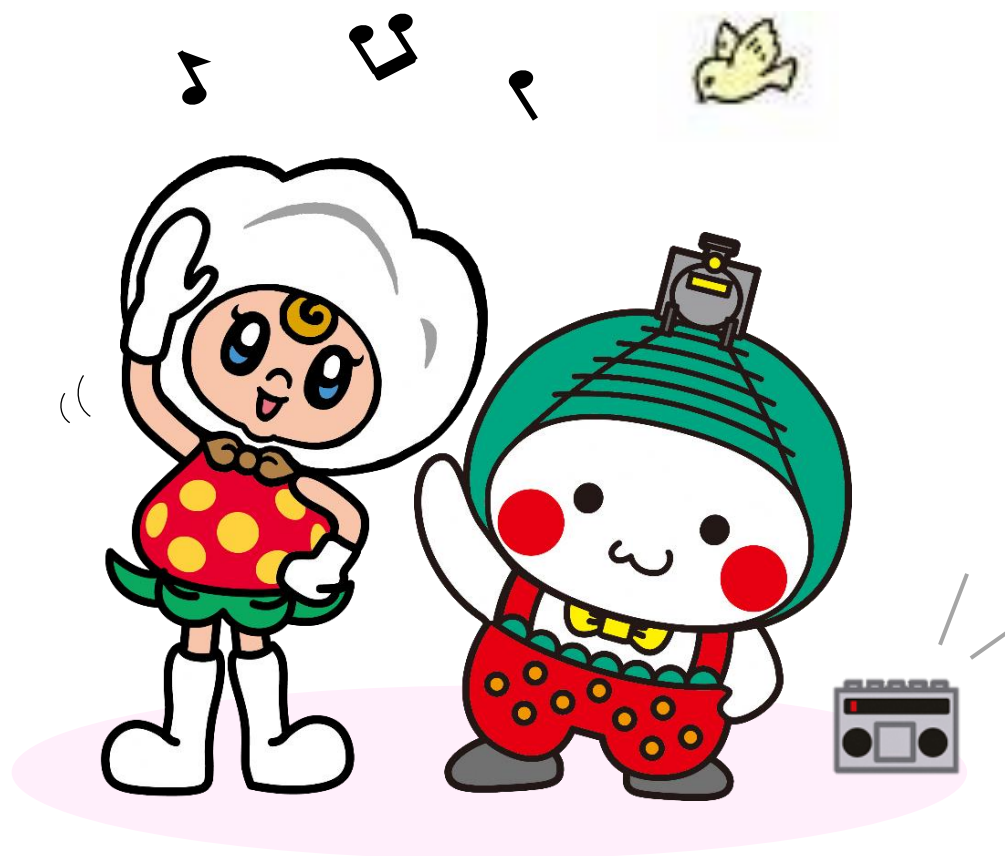


**真岡市国民健康保険
第2期データヘルス計画
【ダイジェスト版】
令和2年度～令和5年度**



**令和2年3月
栃木県真岡市**

1. 第2期データヘルス計画の概要

この第2期データヘルス計画は、国民健康保険加入者の健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目指し、レセプト(診療報酬明細書)や特定健康診査などから得られるデータ分析に基づき、加入者の健康状態に即した、より効果的な保健事業を行うための実施計画です。

この計画の期間は、令和2年度から令和5年度までの4年間とします。

2. 真岡市国民健康保険の現状と課題

・被保険者数・年齢構成(本編P.8)

本市の平成30年度の人口は、79,476人です。高齢化率(65歳以上)は26.0%であり、県との比較で1.9ポイント低くなっています。また、国民健康保険被保険者数は21,130人で、市の人口に占める国民健康保険加入率は26.7%です。国民健康保険被保険者平均年齢は51.7歳です。

人口構成概要(平成30年度)

	人口総数(人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率 (人口千対)	死亡率 (人口千対)
真岡市	79,476	26.0%	21,130	26.7%	51.7	8.0	10.6
栃木県	1,952,926	27.9%	551,928	28.1%	51.1	7.0	11.4
国	126,443,000	28.1%	31,563,158	25.1%	51.4	7.4	11.0

※人口総数

出典：「真岡市統計書」第2章人口 1.人口と世帯
栃木県「とちぎの統計情報」栃木県毎月人口推計月報
総務省統計局HP「e-Stat」各月1日現在人口

※国勢調査結果をもとに人口の増減を推計。(10月1日現在人口を使用)
国の確定値は千人以下は公表されていない。

高齢化率(65歳以上)

出典：栃木県「とちぎの統計情報」栃木県年齢別人口調査結果(市町別年齢別人口)
「市町別年齢(3区分)別人口及び構成比、年齢構成指数、平均年齢、性比」、「市町村・年齢・男女別人口」
総務省統計局HP「e-Stat」年齢(5歳階級)、男女別人口

国保被保険者数・国保加入率・国保被保険者平均年齢(歳)

出典：国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

出生率・死亡率

出典：「真岡市統計書」第2章人口 2.人口増減
「栃木県保健統計年報(平成29年度版)人口動態統計編」栃木県人口動態統計(概数)の概況

※人口1000人に対する1年間の出生数・死亡数の比率のこと。

・医療情報分析結果(本編P.19、P.35)

(1) 基礎統計

平成30年度の医療費60億6,613万円は平成28年度62億1,706万円より1億5,093万円減少しています。

年度別 基礎統計

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	
A	一カ月平均の被保険者数(人)	22,298	21,478	20,796	
B	レセプト件数(件)	入院外	191,529	186,483	182,196
		入院	4,541	4,341	4,232
		調剤	134,398	131,304	129,514
		合計	330,468	322,128	315,942
C	医療費(円) ※	6,217,061,600	6,238,281,920	6,066,132,050	
D	一カ月平均の患者数(人) ※	11,672	11,302	11,035	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	278,813	290,454	291,702	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	18,813	19,366	19,200	
D/A	有病率(%)	52.3%	52.6%	53.1%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成28年4月～平成31年3月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

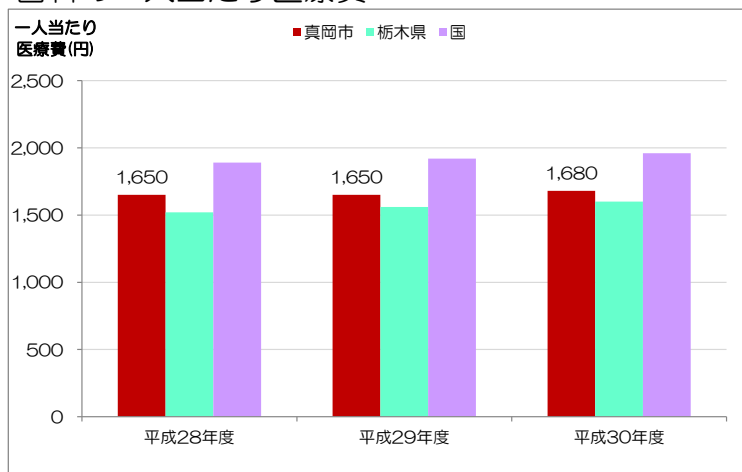
※一カ月平均の患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は一人とし、年度毎に集計。そのため他統計とは一致しない。

※一カ月平均の被保険者数は減少傾向にあるが、被保険者一人当たりの医療費は増加しています。

(2) 歯科に係る医療費

本市の一人当たりの歯科医療費は県と同様に微増傾向にあります。国と比較すると、低くなっています。

歯科の一人当たり医療費

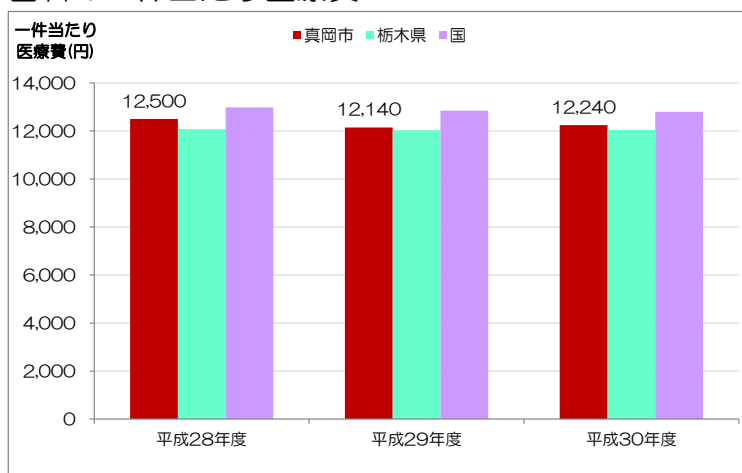


	歯科一人当たり医療費(円)		
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
真岡市	1,650	1,650	1,680
栃木県	1,520	1,560	1,600
国	1,890	1,920	1,960

出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

本市の一件当たりの歯科医療費は県と同様に微増傾向にあります。国と比較すると、低くなっています。

歯科の一件当たり医療費



	歯科一件当たり医療費(円)		
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
真岡市	12,500	12,140	12,240
栃木県	12,080	12,030	12,040
国	12,980	12,850	12,800

出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

・医療費の状況(本編P.25、P.28)

平成30年4月から平成31年3月診療分(12カ月分)の医科・調剤レセプトの分析結果をまとめました。

①大分類・中分類による疾病別医療費

医療費分析の結果、大分類では「循環器系の疾患」が、中分類では「糖尿病」、「その他の悪性新生物」、「高血圧性疾患」が上位でした。生活習慣病への対策が課題です。

【大分類】

医療費総計の高い疾病		医療費 (千円)	構成比 (%)
1位	循環器系の疾患(高血圧疾患、脳梗塞、虚血性疾患など)	892,216	14.7
2位	新生物(肺がん、胃がん、大腸がんなど)	807,345	13.3
3位	内分泌、栄養及び代謝疾患(糖尿病、甲状腺障害など)	705,457	11.6

患者数の多い疾病		年間 患者数(人)
1位	呼吸器系の疾患(気管支炎、アレルギー性鼻炎、慢性閉塞性肺疾患など)	10,717
2位	内分泌、栄養及び代謝疾患(糖尿病、甲状腺障害など)	9,934
3位	消化器系の疾患(胃炎・潰瘍、十二指腸炎・潰瘍、肝疾患など)	9,521

【中分類】

医療費総計の高い疾病		医療費 (千円)	構成比 (%)
1位	糖尿病(糖尿病性腎症、1型糖尿病、2型糖尿病)	376,242	6.2
2位	その他の悪性新生物(前立腺がん、膵がん、膀胱がんなど)	337,288	5.6
3位	高血圧性疾患(高血圧症、本態性高血圧症、高血圧性心疾患など)	318,997	5.3

患者数の多い疾病		年間 患者数(人)
1位	高血圧性疾患(高血圧症、本態性高血圧症、高血圧性心疾患など)	6,845
2位	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの (頭痛、発熱、食欲不振など)	6,827
3位	糖尿病(糖尿病性腎症、1型糖尿病、2型糖尿病)	6,539

・介護保険の状況(本編P.15、P.16)

本市の第1号被保険者の認定率は国、県と比べると低くなっています。

認定者数及び認定率の状況(平成30年度)

区分	真岡市		栃木県		国	
	認定者数(人)	認定率(%)	認定者数(人)	認定率(%)	認定者数(人)	認定率(%)
合計	3,119	14.9	86,098	15.7	6,452,585	18.3

出典:介護保険事業報告 月報(平成31年3月末日現在)

平成30年度の認定者が有している疾病の有病率上位5位は、第1位「心臓病」、第2位「高血圧症」、第3位「筋・骨格」、第4位「精神」、第5位「脂質異常症」となっています。

認定者の疾病別有病状況(平成30年度)

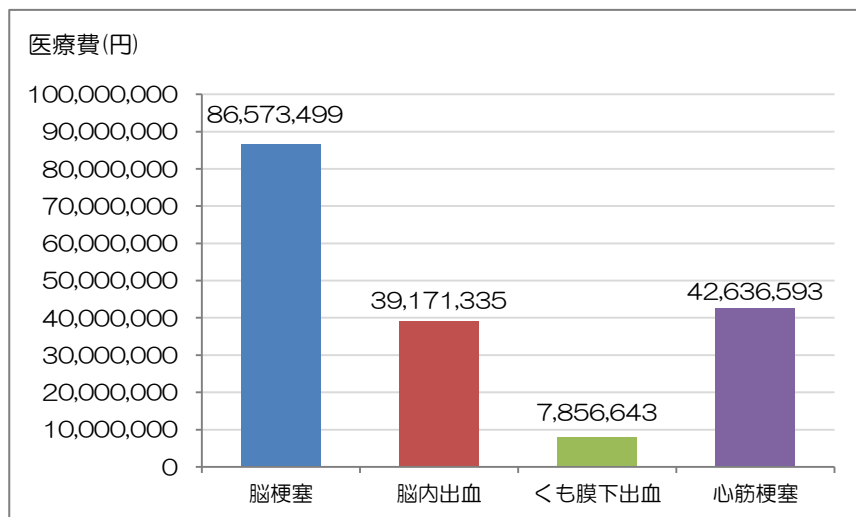
区分	真岡市		順位
	平成30年度		
認定者数(人)	3,270		
心臓病	実人数(人)	2,027	1
	有病率(%)	62.4	
高血圧症	実人数(人)	1,802	2
	有病率(%)	55.4	
筋・骨格	実人数(人)	1,670	3
	有病率(%)	51.5	
精神	実人数(人)	1,246	4
	有病率(%)	38.3	
脂質異常症	実人数(人)	1,038	5
	有病率(%)	30.7	
脳疾患	実人数(人)	969	6
	有病率(%)	30.1	
糖尿病	実人数(人)	767	7
	有病率(%)	23.6	
悪性新生物	実人数(人)	323	8
	有病率(%)	9.6	

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」(令和元年7月29日抽出)

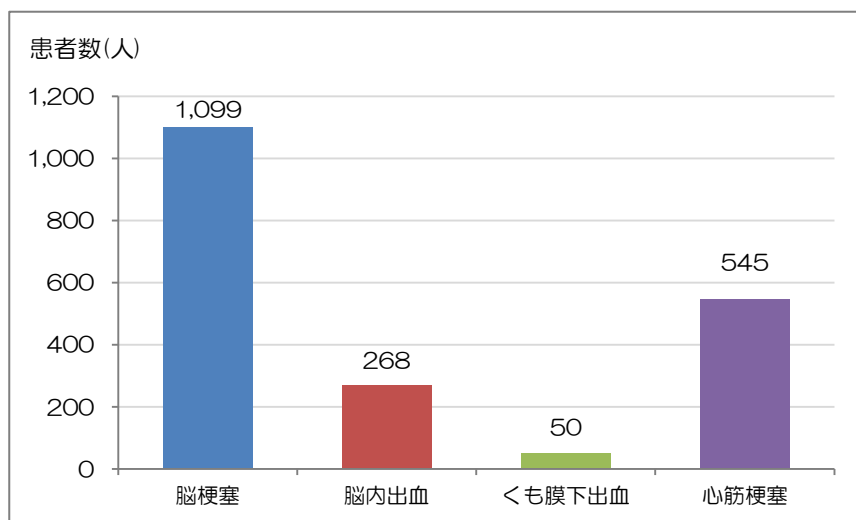
・脳卒中・心筋梗塞の患者の実態(本編P.55)

「脳卒中(脳梗塞・脳内出血・くも膜下出血)」の医療費は約1億3,360万円、患者は延べ1,417人、「脳卒中」の中で大半を占めている「脳梗塞」の医療費は約8,657万円、患者は1,099人でした。「心筋梗塞」の医療費は約4,264万円、患者は545人でした。「脳卒中・心筋梗塞」は死亡率及び再発率が高いことから、発症予防と再発予防の取り組みが必要です。

脳卒中(脳梗塞・脳内出血・くも膜下出血)、心筋梗塞における医療費



脳卒中(脳梗塞・脳内出血・くも膜下出血)、心筋梗塞における患者数



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成30年4月～平成31年3月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

データ化範囲(分析対象)期間内に「脳卒中」もしくは「心筋梗塞」に関する診療行為がある患者を対象に集計。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※中分類による疾病別医療費統計の分析結果と一致しないのは、「0908その他の脳血管疾患」の分類内訳を「脳梗塞」「脳内出血」「くも膜下出血」に振り分けたため。

・糖尿病性腎症重症化予防に係る分析(本編P.45)

人工透析患者の分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、55人(72.4%)が生活習慣を起因とするものであり、その54人(71.1%)が糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かりました。

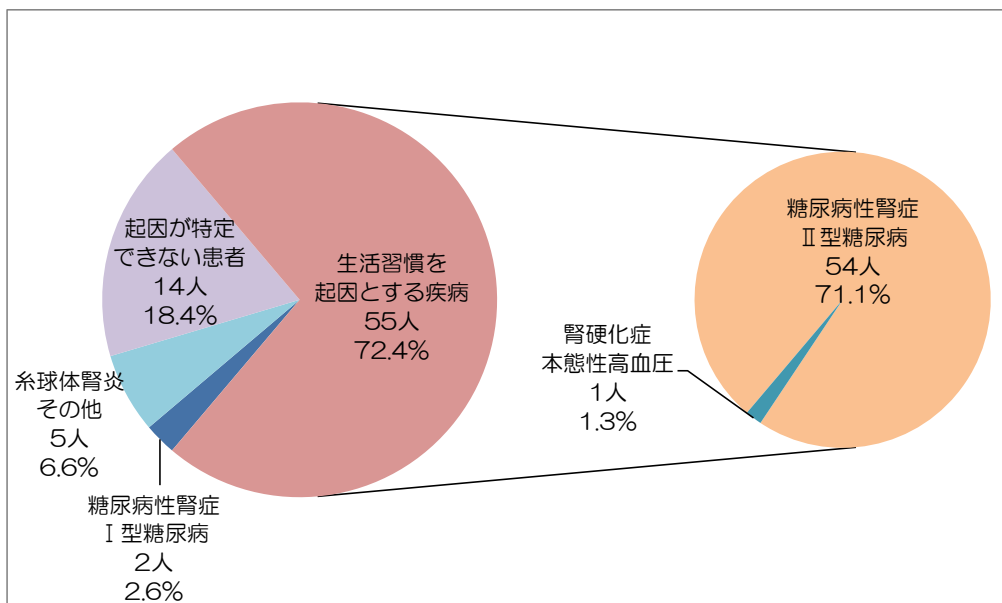
対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	74
腹膜透析のみ	0
血液透析及び腹膜透析	2
透析患者合計	76

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成30年4月～平成31年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成30年4月～平成31年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

※人工透析患者一人当たりの月平均医療費は約46万円です。

・生活習慣病患者の健康診査受診状況別の医療費(本編P.12)

健診受診者と未受診者の生活習慣病の医療費を比較すると、健診未受診者の医療費が高い状況でした。

健診受診者の一人当たりの医療費は10万円程度、健診未受診者の一人当たりの医療費は12万円程度で、未受診者が2万円程度高くなっています。

健診受診別の生活習慣病治療状況(平成30年度)

	人数(人)	生活習慣病 医療費(円) ※	生活習慣病 患者数(人) ※	生活習慣病患者 一人当たり 医療費(円) ※
健診受診者	6,479	350,972,050	3,603	97,411
健診未受診者	8,550	462,765,467	3,858	119,950
合計	15,029	813,737,517	7,461	109,065

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

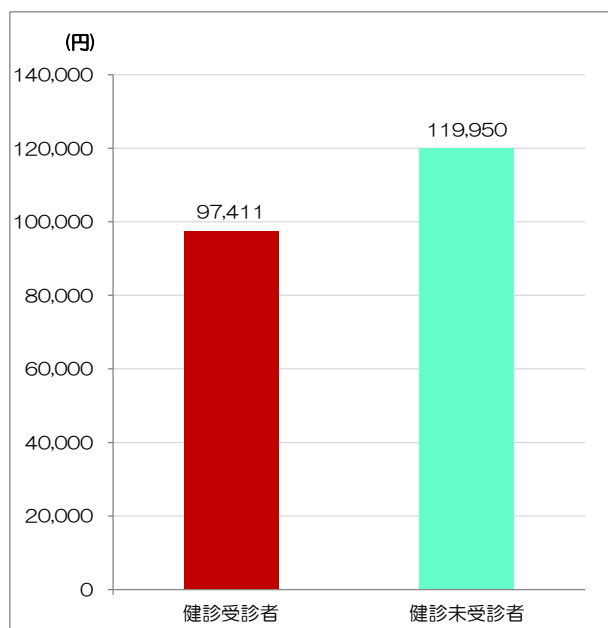
対象診療年月は平成30年4月～平成31年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健診データは平成30年4月～平成31年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成31年3月31日時点。

※生活習慣病…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で受診されたレセプトの内、投薬のあったレセプトを集計する。

健診受診者と未受診者における年間一人当たりの医療費の比較(平成30年度)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の電子レセプト。

対象診療年月は平成30年4月～平成31年3月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)…健診データは平成30年4月～平成31年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成31年3月31日時点。

※生活習慣病…生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で受診されたレセプトの内、投薬のあったレセプトを集計する。

・ 特定健診、特定保健指導(本編P.13、P.14)

特定健診受診率は毎年増加しているが、国の目標値(60%)には達していません。

年度別 特定健康診査受診率

	特定健診受診率		
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
真岡市	42.6%	44.9%	45.7%
栃木県	33.5%	34.5%	35.5%
国	36.4%	36.7%	36.3%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」(令和元年7月29日抽出)

国、県より特定保健指導実施率は高くなっています。

年度別 特定保健指導実施状況

	動機付け支援対象者数割合			積極的支援対象者数割合			支援対象者数割合			特定保健指導実施率		
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
真岡市	9.0%	9.7%	8.9%	3.8%	4.0%	3.6%	12.9%	13.7%	12.4%	44.3%	48.3%	25.2%
栃木県	8.6%	8.9%	8.8%	2.9%	2.9%	2.7%	11.5%	11.8%	11.5%	27.9%	28.2%	20.7%
国	8.7%	9.0%	9.0%	3.2%	3.2%	3.2%	12.0%	12.1%	12.2%	22.7%	21.2%	11.0%

動機付け支援対象者数割合・積極的支援対象者数割合・支援対象者数割合…特定健康診査を受診した人に対する割合。
 特定保健指導実施率(平成30年度)…年度途中のデータのため、最終結果とは異なる。
 出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」(令和元年7月29日抽出)

【目的：健康寿命の延伸、医療費の適正化】

目標：特定健康診査受診率の向上

＜課題＞

特定健診の受診率は年々微増しているが、目標値には達していないことから、健診未受診者対策が必要である。

＜改善策＞

継続受診や新規受診率の割合を増加する他、レセプトデータ等を利用し、通院中の方への受診勧奨を実施していく。

目標：特定保健指導の実施率の向上

＜課題＞

メタボ該当者・予備群に該当する割合は年々増加傾向にあることから、特定保健指導を行うことにより生活習慣改善のための行動変容を促していく必要がある。

＜改善策＞

- ・特定保健指導未実施者には、訪問、電話、通知等により実施勧奨を行う。
- ・ヤング健診でメタボの要因となる生活習慣を調査する。
- ・当日保健指導の実施者の医療費について効果を検証していく。

目標：生活習慣病予防

＜課題＞

生活習慣病に起因する医療費が増加傾向にあることから、生活習慣病の発症を予防していく必要がある。

＜改善策＞

- ・健診異常値放置者や生活習慣病治療中断者への取り組みを強化していく。
- ・高血圧者への対策の取り組みを強化する。

目標：糖尿病等重症化予防

＜課題＞

糖尿病患者や予備群が増加し、新規人工透析者も増加傾向にあることから、重症化予防に重点を置いた取り組みを継続していく必要がある。

＜改善策＞

- ・ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチを組み合わせる。
- ・特定健診対象者を糖尿病性腎症病期分類に振り分け、対象者に応じた保健指導や受診勧奨を行う。

3. 実施事業内容

●長期的事業(本編P.101~P.104)

1 特定健康診査未受診者対策

→ 被保険者の健康づくりの契機と生活習慣病予防

特定健康診査を受診していない人に、通知や電話による受診勧奨を行います。



2 特定保健指導事業

→ 被保険者の生活習慣病予防

特定健康診査の結果から対象者を特定し、自らの生活習慣における課題を認識して行動変容と自己管理を行うとともに健康的な生活を維持することができるよう個別指導を行います。



3 健診当日保健指導

→ 被保険者の生活習慣病の重症化予防

自分の健康に関心が高いと考えられる特定健康診査受診当日に、受診者全員に生活改善のための個別指導を行います。



4 若年層への保健指導・健康教育

→ 若年層の健康意識を高め、生活習慣病発症予防・重症化予防に取り組む

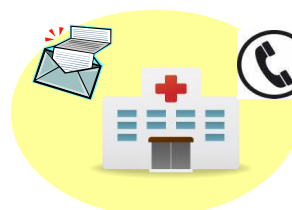
30歳代を対象としたヤング健診を行います。健診会場では、運動・栄養・喫煙など対象者全員に個別指導を実施します。



5 健診異常値放置者受診勧奨

→ 治療が必要な被保険者が医療機関を受診することで重症化を防ぐ

特定健診の結果が医療機関受診勧奨値レベルで、精密検査未受診の被保険者に対して、通知・電話による受診勧奨を実施します。



6 COPD啓発事業

→ COPDの認知度の向上

COPDとその予防方法について、正しい知識の普及啓発を行います。広報による案内や特定保健指導等で禁煙指導やパンフレットの配布を実施します。



7 人間ドック・脳ドック検診事業

→ 検診費の助成を行い、病気の早期発見・早期治療を促進する

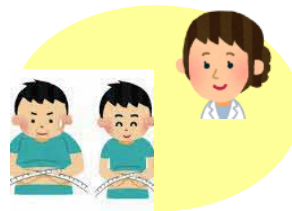
人間ドック・脳ドック検診受診者に対し、検診費用の1/2相当額(2万円限度)を助成します。



8 健康づくり事業

→ 生活改善の取り組みの促進

生活習慣病の予防や生活改善に取り組める意識・意欲の向上を図るため、講演会や広報誌を通じ健康情報を提供します。



9 地域包括連携事業

→ 高齢者の介護予防の促進

住民主体の通いの場を充実するとともに、高齢者の筋力向上を図るために運動教室の実施やサロンや老人クラブに専門職を派遣します。



●中期的事業(本編P.105、P.106)

1 特定健診

→ 被保険者の生活習慣病発症・重症化予防

内臓脂肪の蓄積や検査値を把握することにより、生活習慣病の発症及び重症化予防を図ります。



2 歯周病検診

→ 被保険者の口腔ケアの保持・増進

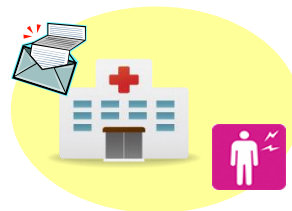
歯周病疾患の早期発見と早期治療健診により歯の健康づくりの意識を高め、口腔ケアを保持・増進します。



3 生活習慣病治療中断者受診勧奨事業

→ 治療中断者へ受診勧奨を行い、重症化を防ぐ

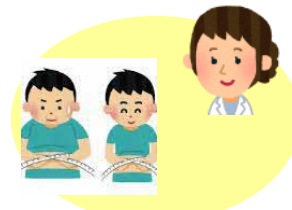
生活習慣病治療中断者へ医療機関受診の必要性について通知するとともに、健診未受診者には健診の受診勧奨もすることで、生活習慣病の重症化を防ぎます。



4 生活習慣病重症化予防事業

→ 生活習慣病の重症化予防

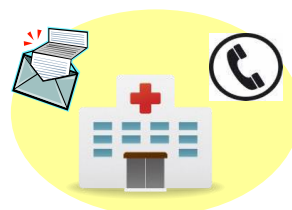
特定健診受診者のうち、情報提供者をリスク別に分け、個別指導を実施します。また各種教室を開催し、生活習慣病の重症化を防ぎます。



5 糖尿病重症化予防事業

→ 糖尿病の重症化予防

必要な被保険者に対し訪問や通知等による精密検査の勧奨等、適正医療の支援を行い、糖尿病の重症化予防を行います。

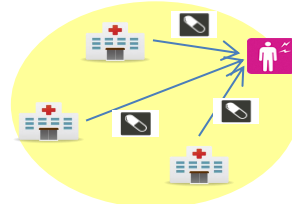


●短期的事業(本編P.107、P.108)

1 受診行動適正化指導事業

→ 重複・頻回受診者、重複服薬者の受診行動の適正化を図る

医療機関への過度な受診が確認できる対象者等を特定し、適正な医療機関へのかかり方について指導を行います。かかりつけ医をもつこと、お薬手帳の活用について周知を図ります。



2 ジェネリック医薬品差額通知事業

→ ジェネリック医薬品の利用促進

生活習慣病等の慢性疾患で、先発医薬品を服用されている対象者へジェネリック医薬品への切替えを促す通知を送付し、ジェネリック医薬品の利用を促進し、医療費の削減を図ります。



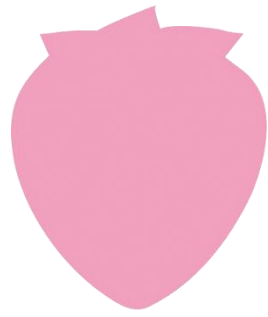
・保健事業の主な評価指標(本編P.101~P.108)

事業名	目標値	現状値
	令和5年度	平成30年度
特定健康診査 未受診者対策	・特定健診受診率 60.0%	・特定健診受診率 45.6%
特定保健指導事業	・特定保健指導実施率 60.0%	・特定保健指導実施率 51.7%
健診当日保健指導	・BMI25以上の割合 26.4%	・BMI25以上の割合 27.6%
若年層への 保健指導・健康教育	・30歳～39歳における 特定健診受診率 14.9%	・30歳～39歳における 特定健診受診率 14.1%
健診異常値放置者 受診勧奨	・精密検査実施率 63.9%	・精密検査実施率 62.9%
COPD啓発事業	・COPDの認知度 30.5% ・喫煙者数の割合 12.4%	・COPDの認知度 26.5% ・喫煙者数の割合 14.4%
人間ドック・脳ドック 検診事業	・受診者数 416人	・受診者数 394人
健康づくり事業 (ポピュレーション アプローチ)	・健康づくりを実践している 市民の割合 90%以上	・健康づくりを実践している 市民の割合 87.4%
地域包括連携事業	・1号被保険者要介護認定率 維持 ・一般介護予防利用率 16.0%	・1号被保険者要介護認定率 14.9% ・一般介護予防利用率 11.6%
特定健診	・40歳～44歳における 特定健診受診率 28.9%	・40歳～44歳における 特定健診受診率 28.1%
歯周病検診	・検診受診率 15.0%	・検診受診率 14.5%
生活習慣病治療中断者 受診勧奨事業	・治療中断者のうち、医療機関を 受診した割合 85.3%	・治療中断者のうち、医療機関を 受診した割合 83.3%
生活習慣病 重症化予防事業	・血圧においての有所見者の割合 (収縮期血圧) 45.1% ・脂質においての有所見者の割合 (LDL) 50.1% ・生活習慣病のコントロール不良者 の割合 41.4% ・高血圧者(Ⅲ度以上)の受診率 73.0%	・血圧においての有所見者の割合 (収縮期血圧)45.9% ・脂質においての有所見者の割合 (LDL) 51.3% ・生活習慣病のコントロール不良者 の割合 43.4% ・高血圧者(Ⅲ度以上)の受診率 72.2%
糖尿病性腎症 重症化予防事業	・血糖コントロール不良者の割合の減少 (HbA1c 8.0%以上) 8.8% ・新規透析移行者数の減少 ・糖尿病要精密検査受診率 64.8%	・血糖コントロール不良者の割合の減少 (HbA1c 8.0%以上) 9.2% ・新規透析移行者数 17人 ・糖尿病要精密検査受診率 59.6%
受診行動適正化 指導事業	・指導後の受診行動適正化率 50.0%	・指導後受診行動適正化率 33.3%
ジェネリック医薬品 差額通知事業	・ジェネリック医薬品普及率 81.6% (数量ベース、医科・調剤合計)	・ジェネリック医薬品普及率 79.8% (数量ベース、医科・調剤合計)

* 個別の保健事業ごとに、毎年評価を行い、翌年度の事業の実施方法内容等の改善を行います。

真岡市国民健康保険第2期データヘルス計画
(令和2～5年度)

発行年月 令和2年3月
発行・編集 真岡市 市民生活部 国保年金課
〒321-4395
栃木県真岡市荒町5191番地
電話 0285-83-8123
FAX 0285-83-6205



真岡市